

株主メモ欄・お知らせ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
 剰余金の配当基準日 3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)
 定時株主総会 毎年6月下旬
 単元株式数 500株
 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社に口座を お持ちの場合	特別口座の場合 (旧・北越製紙株主様)	特別口座の場合 (旧・紀州製紙株主様)
お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。	みずほ信託銀行株式会社 みずほインベスターズ証券株式会社 (郵便物送付先) 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部 (電話) 0120-288-324(フリーダイヤル)	住友信託銀行株式会社 (郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1-10 住友信託銀行 証券代行部 (電話) 0120-176-417(フリーダイヤル)
ご注意		単元未満の買取・買増以外の株式売買は出来ません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。	

公告方法 電子公告 <http://www.hokuetsu-kishu.jp/koukoku.html>

やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、新潟市において発行する新潟日報および東京都において発行する日本経済新聞に掲載致します。

○単元未満株式【買増制度】【買取制度】のご案内

当社は、単元未満株式について【買増制度】(1単元(500株)未満の株数を所有されている株主様が、1単元にするために不足分を買い増すことができる)と、【買取制度】(1単元未満の株式を所有されている株主様の株式を当社が買取、処分することができる)を導入しております。お手続きにつきましては、上記お問い合わせ先にご連絡ください。

北越紀州製紙株式会社

www.hokuetsu-kishu.jp

173期 株主レポート

(平成22年4月1日から
平成23年3月31日まで)



北越紀州製紙株式会社

グループ全体で生き生きとした
企業風土を醸成し、環境経営の
さらなる推進を図るとともに、
真のグローバル企業に向けて、
成長戦略を推進してまいります。

代表取締役社長 CEO

岸本 哲夫

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、
格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
皆さまから頂戴いたしました温かいご支援に深く感謝し、
心よりお礼申し上げます。

このたびの東日本大震災により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。また、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

当社グループにおきましては、人的被害はございませんでしたが、当社関東工場勝田工務部及び北越パッケージ株式会社勝田工場に付帯設備及び製品在庫の一部に被害が発生し、また当社新潟工場で構外の工業用水送水管の漏水の影響により、それぞれ操業を一時停止いたしました。幸いなことに主要な生産設備には重大な被害がなく、早急に復旧をいたしました。

◆事業の経過及びその成果

当社グループは、当期において東日本大震災による特別損失に災害損失約15億円を計上いたしました。早期復旧によ

り影響を比較的軽微にとどめることができました。

売上高は、国際競争力の強化を経営の基本方針として製品輸出の強化に取り組んできた結果、大幅な増販ができ、また、紀州製紙株式会社等が当連結会計年度を通して連結対象となったこともあり、2,170億1千3百万円、前期比11.9%の増収となりました。

経常利益は、国内市況の下落や、チップ・古紙など原燃料価格の上昇があったものの、当社グループ全体での各種コストダウン効果や負ののれんの償却等により、102億8千2百万円、前期比7.4%の増益となりました。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらず格別のご支援とご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

長期経営ビジョン「Vision 2020」・中期経営計画「G - 1st」について

当社グループは、2020年（平成32年）を目標とする長期経営ビジョン「Vision 2020」を策定し、その実現に向け、平成23年4月から平成26年3月までの中期経営計画「G - 1st（ジー・ファースト）」をスタートさせました。その基本方針は、次ページに記載の通りですが、特に、主要4事業における海外事業展開については、洋紙事業はさらなる輸出の拡大、白板紙事業は海外生産への進出、特殊紙及び紙加工事業では海外生産の増強・充実を推進してまいります。

Vision 2020

長期ビジョン

1. 名称

Vision 2020

2. 2020年までに目標とする企業イメージ

- 環境経営を推進し、あらゆる企業活動において環境を重視する企業
- 高い技術を有し、優れた品質とコスト競争力を持った魅力ある商品を提供する企業
- 着実な成長とあくなき挑戦を、情熱を持って続ける企業
- 売上高規模：3,000億円以上（海外売上高比率：25%）

G-1st

新中期経営計画

1. 計画の名称

G-1st（ジー・ファースト）



これらを基本として Vision 2020 に向けて 1st ステップを刻む。

2. 計画の期間

2011年（平成23年）4月1日～2014年（平成26年）3月31日（3年間）

G-1st

3. 経営計画の基本方針と経営目標

<経営計画の基本方針>

国内市場の継続的な減少が予想される中、いかなる事業環境下においても、グループ全体で生き生きとした企業風土を醸成し、環境重視の経営に徹し持続的成長を目指す。その実現のため、Vision 2020 の第1ステップとして、優れた品質とコスト競争力を有し、環境にやさしく、魅力ある商品を提供する真のグローバル企業へ向け、主要4事業を展開するとともに、今後更なる海外展開を積極的に進める。

<経営目標>（連結：2013年度（平成25年度））

売上高	2,350億円
経常利益	150億円
売上高経常利益率	6.3%以上
EBITDA	340億円
EBITDA / 売上高	14.4%以上

4. 経営戦略と運営体制

<経営戦略>

環境負荷のより一層の低減を進め、環境により優しい商品を提供するとともに、現有生産設備を最大限に活用して品質及びコスト両面の競争力を高め、魅力ある商品をもって、国内では流通・代理店の強化により販売を充実、海外では環太平洋を中心とした成長市場を取り込み輸出を拡大する。
また、海外展開へ向けた戦略的投資を進めるべく、グループ全体で徹底したコストダウン・効率化を進め収益基盤のレベルアップを図る。

(1) 主要4事業の戦略

- 洋紙事業：ニーズに適った品質と新商品をもって国内販売量の充実と輸出の拡大を目指す。
- 白板紙事業：全体最適に基づく生産販売と品質向上により競争力を高め販売量の拡充を目指す。また事業のグローバル化も積極的に進める。
- 特殊紙事業：ユーザーニーズの変化に機敏に対応するとともに、新商品開発・新規分野開拓及びコストダウンを進める。
- 紙加工事業：川上事業との連携、新規開拓による分野拡大及び海外事業の強化を進める。

(2) 重点項目

- 北越紀州販売及び既存代理店の販売力強化、海外販売網の整備拡充を進め、カスタマーオリエンテッドに徹した強力な販売を展開する。
- 環境負荷の低減を進める。中でも製品トンあたりのCO₂排出量は、業界トップレベルを維持し、更なる改善に取り組む。
- 輸出の拡大を進めるとともに、海外生産拠点の確立に取り組む。
- 強固なガバナンス及びコンプライアンス体制を構築する。
- 今後の展開に必要な人材の育成を図る。

<運営体制>

事業本部制により、責任を明確にしつつ、効率的かつスピーディに経営施策を展開する。

決算のご報告

連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

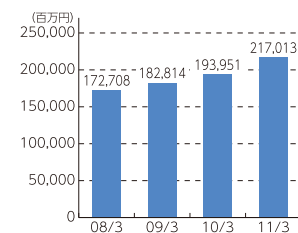
	2011年3月期期末 (2011.3.31現在)	2010年3月期期末 (2010.3.31現在)	増減額
流動資産	103,735	104,380	△644
固定資産	218,519	236,590	△18,070
資産合計	322,254	340,970	△18,715
流動負債	98,031	111,580	△13,548
固定負債	84,400	89,400	△4,999
負債合計	182,432	200,981	△18,548
純資産合計	139,822	139,989	△167
負債純資産合計	322,254	340,970	△18,715

連結損益計算書(要旨)

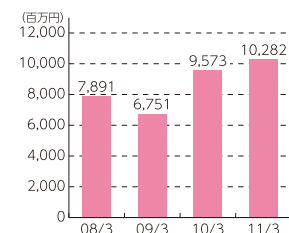
(単位：百万円)

	2011年3月期 (2010.4.1~2011.3.31)	2010年3月期 (2009.4.1~2010.3.31)	増減額
売上高	217,013	193,951	23,062
売上総利益	39,492	36,690	2,802
販売費及び一般管理費	30,749	26,798	3,951
営業利益	8,743	9,891	△1,148
経常利益	10,282	9,573	709
当期純利益	5,431	7,239	△1,807

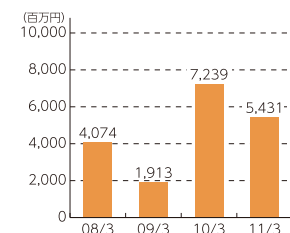
売上高



経常利益



当期純利益



連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

	2011年3月期 (2010.4.1~2011.3.31)	2010年3月期 (2009.4.1~2010.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,859	36,944
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,208	△10,637
財務活動によるキャッシュ・フロー	△20,020	△30,866
現金及び現金同等物の期末残高	11,194	11,668

TOPICS

中国における白板紙事業展開

当社グループのグローバル化を更に拡大することを目的として、当社製品の輸出販売先として長年にわたり良好な関係にあるHop Cheong Paper Company Limited (所在地：香港) 及び三菱商事とともに、当社が主体となり合併の子会社を設立することといたしました。

本合併事業では、香港に持株会社を設立し、この合併会社を通じて中国・広東省に白板紙の製造販売会社「江門星輝造紙有限公司」を設立いたします。

中国市場の成長性を考慮して、最終的な白板紙製造能力を60万t/年とし、その第一計画として30万t/年の白板紙製造設備を導入いたします。また、製品は、広東省内を中心に販売を展開する計画です。

販売代理店事業の統合について

新たに当社製品等の販売を行う当社子会社として「北越紀州販売株式会社」を設立し、本年10月を目途に当社代理店である丸大紙業(株)及び(株)田村洋紙店の紙パルプ製品の販売代理店事業と統合させることにいたしました。販売代理店事業を集約することにより、その基盤の強化及び拡大を図り、お客様により高品質のサービスを提供していくことを目指します。

(新会社の概要)

名称	北越紀州販売株式会社
事業内容	販売代理店事業
資本金	1,000万円
設立年月日	平成23年4月
出資比率	北越紀州製紙株式会社 100%

事業セグメント情報

紙パルプ事業

売上高……………185,923百万円(前期比10.9%増)
営業利益……………6,886百万円(前期比14.8%減)

紙パルプ事業につきましては、当社の洋紙を中心とした輸出販売数量の増加や紀州製紙株式会社が通期連結対象となったことにより増収となりました。損益面におきましては、当社グループ全体での各種コストダウンの取り組みを実施したものの、国内市況の下落や、チップ・古紙など原燃料価格の上昇等により減益となりました。

洋紙

国内は紀州製紙株式会社が通期連結対象となったことや、カスタマー・オリエンテッドによるきめ細かい営業活動により増販となり、一方輸出は製品輸出の強化に組み、増収となりました。

白板紙

食品・医療品向けの紙器用途で新規受注等により、白板紙全体では販売数量が増加いたしました。

特殊紙

ファンシー・ペーパー等の低迷が続きましたが、工業用紙分野は自動車・半導体業界等の影響により、リーマン・ショック前の状況まで需要は回復し、紀州製紙株式会社が通期連結対象となったこともあり、増収となりました。



パッケージング・紙加工事業

売上高……………21,007百万円(前期比6.3%増)
営業利益……………452百万円(前期比10.8%増)

パッケージング・紙加工事業につきましては、株式会社ビーエフが通期連結対象となったこと等により増収となりました。損益面におきましても、全体的に厳しい受注環境下にありましたが、為替の円高による影響から原材料価格が下がったこともあり増益となりました。



その他

売上高……………10,082百万円(前期比53.2%増)
営業利益……………578百万円(前期比5.5%減)

木材事業、建設業、運送・倉庫事業をはじめとするその他事業につきましては、紀州製紙株式会社の子会社が通期連結対象となったこと等により増収となりましたが、全般的には受注環境が厳しく、減益となりました。

CSR活動

文化・教育活動、スポーツ振興、震災復興支援などを通して社会貢献活動を継続していくこと。これも、私たちの大切な責任です。



東日本大震災に対する復興支援

このたびの「東日本大震災」に対し当社では、被災者の皆様の支援や被災地の復興に役立てていただくため、当期においては義援金1,000万円の寄附、並びに「更衣室兼授乳室」（一部当社製品「パスコ」を使用）30台の無償提供を行いました。また、復旧・復興に要する期間も長期に及ぶことが確実であることから、追加支援として被災地域の児童・生徒への教育活動に役立てていただくため、1億円を拠出することといたしました。被災者の皆様や被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



諸橋轍次博士編纂「大漢和辞典」完成50年記念漢字文化講演会

10月31日（日）、新潟市の市民プラザにおいて当社が協賛した「漢字文化講演会」が開催されました。当日は450人のお客様に参加いただきました。

講師として、早稲田大学大学院の笹原教授、二松学舎大学 前学長の石川先生を、特別ゲストとして諸橋轍次博士の三男 諸橋晋六様をお招きしました。笹原教授の講演テーマは「漢字と日本人」。日本人が外来語である漢字を、自分たちが使いやすいようにうまく工夫して変化を加えてきた歴史などについて説明してもらいました。石川先生には、諸橋博士が詠んだ漢詩を解説していただきました。

会社情報

■会社概要（平成23年3月31日現在）

会社名	北越紀州製紙株式会社
設立	明治40年4月27日
本店所在地	新潟県長岡市西蔵王三丁目5番1号
資本金	42,020,940,239円
従業員数	連結 3,951名 単体 1,227名
URL	http://www.hokuetsu-kishu.jp

■株式の状況（平成23年3月31日現在）

発行可能株式総数	500,000,000株
発行済株式総数	205,142,502株 (自己株式4,121,312株を除く)
株主数	13,765名

■大株主の状況（平成23年3月31日現在）

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
三菱商事株式会社	51,740	25.22
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	11,742	5.72
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	9,437	4.60
日本興亜損害保険株式会社	5,992	2.92
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(住友信託銀行再信託分・王子製紙(株)退職給付信託口)	5,614	2.74
大王製紙株式会社	4,286	2.09
株式会社第四銀行	4,217	2.06
株式会社北越銀行	4,215	2.05
JPモルガン証券株式会社	3,765	1.84
株式会社みずほコーポレート銀行	3,600	1.75

- (注) 1. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(住友信託銀行再信託分・王子製紙(株)退職給付信託口)持株数5,614千株は、王子製紙株式会社が所有していた当社株式を退職給付信託として委託した信託財産であり、議決権は王子製紙株式会社の指図により行使されることとなっております。
2. 当社は自己株式を4,121千株所有しておりますが、上記「大株主の状況」からは除外しております。
3. 上記「大株主の状況」出資比率は、自己株式数を控除して算出しております。

■役員（平成23年6月24日現在）

代表取締役社長 CEO	岸本 哲夫
専務取締役	田村 潔
専務取締役	下越 典彦
常務取締役	赤川 公一
常務取締役	佐々木孝行
常務取締役	土田 道夫
取締役	松木 和道
取締役	小野田荘平
取締役	阿部 文男
取締役	青木 昭弘
取締役	家里 義久
取締役(社外取締役)	村越 晃
常勤監査役	細井 和則
常勤監査役	土田 文芳
監査役(社外監査役)	佐藤 歳二
監査役(社外監査役)	内田 一夫